

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ **学校力向上プラン【学校評価書】**

中学校区におけるめざす子ども像										主体的に学び、夢に向かって、努力し続ける子										堺市立新湊小学校 校長 大矢根 克典			
令和7年度 学校教育目標「心身ともに健康で、仲間とともに、自ら学びを深める児童の育成」 重点目標 ①知－自ら学びを深める－すすんで学習し、積極的に活動する子 ②徳－仲間とともに－仲間とつながり、ささえあえる子 ③体－心身ともに健康で－明るく元気で、たくましい子																							
「確かな学び」の現状 各種調査の結果は依然として、知識及び技能については一定の成果が見られるが、思考力・判断力・表現力等については課題が見られる。引き続き、思考力・判断力・表現力等を向上させる取り組みが必要である。												「豊かな心・健やかな体」の現状 集団づくりの取組により、「学校へ行くのが楽しい」の肯定的評価は85%を超えているが、さらに誰一人取り残さないため一人ひとりの居場所づくりの取組を推進する必要がある。また、改善されてきている基本的生活習慣の確立も同様である。											
大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)		達成状況(年度末)														
									自己評価		学校関係者評価												
確かな学び	基礎基本の定着	基礎的・基本的な知識技能の定着を図る。	トレーニングタイムを活用して、基礎学力の向上を図る。	算数の2学期末評価テスト「知識・技能」において80点以上。 国語は日々のトレーニングタイムの中で、成長を見とっていく。	評価テスト 実践報告	3学期	○	朝のトレーニングタイムや授業等で継続的に基礎基本の定着に努めている。	○	算数の評価テスト「知識・技能」における平均は、83点であった。 「授業中、PCを使って調べ学習をすること等が週3回以上ある」の肯定的回答は、昨年同様68%であった。PCが更新されてから、さらに活用頻度は増加したと考えられる。	○	引き続き、基礎基本の定着の取組を進めてほしい。 ICT活用力は今後も期待している。一方、SNS等のルール順守についてはあらゆる場面で指導していくべきと考える。											
			ICTの活用を推進する。効果的な活用をめざす。	3年生以上において、授業で週3回以上GIGAスクールパソコンを使用する。	学校アンケート (児童)	2学期末	○	授業観察で、積極的にPCを活用している様子が見られる。	○		○												
	授業改善	すべての教科で、自分の考えをもてる子どもを育成する。	各学年で定めた研修の軸に従い、全学年で研究授業、協議を行い、授業研究を充実させることにより、授業力向上を図る。	各学年の主軸は達成されたかで、肯定的回答80%以上。 研究協議の成果や課題を共有しながら、全学年年間通して日々の授業改善に活かしていく。	質問紙(児童) 実践報告	毎学期	○	11月末までに4学年で授業研究を実施した。授業後、全教員による研究協議を行い、市教委から派遣された指導主事による指導助言を受けた。	○	1月までに全学年で授業研究を実施し、授業後の研究協議や指導主事の指導助言が、その後の授業改善に活かされた。 「授業中、ノートにめあてや振り返りを書いている」の肯定的回答は、昨年度88%であったが、今年度は84%であった。 また、自分の考えをもち表現することや知識・技能において、個人の到達度の開きが顕著であることが課題である。	○	どの学年も研修目標に向け、適切に指導していると考ええる。 各自が達成感を味わい、より学習への意欲を高める取組ができていると考える。											
			●年間を通して計画的、意図的に自分の考えをもち、それを表現できる場面を設定した授業を行う	「授業で自分の考えをもつことができた」 「ノートに自分の考えよく書いている」で、肯定的回答80%以上。	質問紙 実践報告	年度末	○	年度初めにこの取組を、大浜中学校群での取組みに定めた。授業観察では、自分の考え等を書く場面を取り入れたり、自分の考えを深めたり広げたりする交流活動を取り入れた授業が実践されている。	△		○	課題に向け、自ら考え、他者の意見もふまえながら、自分の考えをより深めることができる児童が増えたように感じる。 集団内での到達度の差の解消については、今後も課題として取り組んでほしい。											
			★授業で必ず自分の考え等を書く場面を取り入れたり、自分の考えを深めたり広げたりする交流活動を取り入れる。	目標とする授業を確実に実践する。																			
			豊かな心・健やかな体	豊かな心の育成	生き生きと活動することを通して、自分や自分のまわりをよりよいものに変えていくことをする子どもを育成する。	●きょうだい学年交流会や全校参加の児童会主催イベントなどの児童活動を充実させ、子どもの自分は学校・学級の一員であるという意識を高める。	学校アンケート(児童)の「学校へ行くのが楽しい」が肯定的回答85%以上。	学校アンケート(児童)	2学期末	○	各種行事のみならず日々の授業でも、学年・学級集団作りを意識した指導を意図的に実施している。	○	「学校へ行くのが楽しい」の肯定的回答は93%で、昨年度より増加した。また、「人が困っているときは、進んで助ける」の肯定的回答は98%であった。 しかし、否定的回答があることや現実に課題である事象が生じたことを真摯に受け止め、さらに取り組みを推し進めることが必要である。	○	児童が活躍する場面を多く設定していることは良い取組であると考える。 相手の気持ちや場の状況をふまえ、各自が行動できていることは取組の成果出ていると考える。 いじめ・長期欠席者の対応は、今後ますます難しくなると思う。								
日ごろから、子どもの悩みや困り感に対し、迅速な情報共有と適切な対応を心掛け、毎学期のいじめアンケートを活用しながら、いじめ等の未然防止・早期発見・早期対応を行う。	学校アンケート(児童)の「人が困っているときは、進んで助けていますか」が肯定的回答85%以上。	学校アンケート(児童)				2学期末	○	いじめアンケートの結果のみならず、日々の一人ひとりの子どもたちの言動やお互いの関係を注意深く見守り、いじめの早期発見・即時対応に努めている。	△														
「一人ひとりの違いを認め合うことができるクラス」づくりのために、各学年・学級の実態に合わせた取り組みを計画し、1年間を通して取り組みを進める。	年度末に、取り組みの成果や課題を報告し合い、子どもやクラスの変容から目標が達成されたか検証する。	実践報告				年度末	○	各学年、年間指導計画に基づき、道徳の授業や人権に関する啓発授業を行っている。	○														
健やかな体の育成	運動に親しむ環境を整え、体力を向上させる。	課題のあった跳躍力等の向上を図る体づくり運動を、体育の準備運動の際に取り入れる。		年間を通して課題の解決に向けた運動を取り入れることに取り組む。	全国体力・運動能力運動習慣調査	年度末	○	課題のあった跳躍力等の向上を図る運動を意識して取り入れている。	△	立ち幅跳びは、昨年度から改善が見られるものの、上の学年で課題として残っており、今後も継続的な取組が必要である。 生活習慣チャレンジで、毎月自分の生活を振り返ることができた。	○	運動や生活習慣については、学校と家庭の連携が引き続き重要であると考える。 次年度以降、安全指導の中で、自転車等の交通安全指導の強化を求める。											
		★基本的生活習慣(特に、早寝早起きの習慣、朝ごはんを毎日食べる)を確立させる。		生活習慣チャレンジ等の結果を活用し、児童自身で生活を振り返り、改善に取り組む。	実践報告	毎学期	○	年度初めにこの取組を、大浜中学校群での取組みに定め、生活習慣チャレンジを継続し、ている。	○														
地域連携	信頼される学校	保護者、地域と歩む学校づくりを進める。		教育活動についてHPや学校・学年便り等で発信し、保護者や地域の理解、協力を得る。	学校HPを課業日には毎日更新し、学校・学年便りを月1回以上発行する。	実践報告	年度末	○	学校HPの更新、学校・学年便りの発行は、目標通り実施している。	○	2年生の「町探検」では班に分かれて校区でフィールドワークを行ったり、3年生の「堺の学習」では様々な分野の外部講師を招聘する等、地域学習に取り組んだ。	○	ICTの普及により、情報モラル等の指導が継続的に必要と考える。学校での指導はもちろん、家庭における指導やルール決め等も大切である。										
			地域探検等の地域学習に取り組み、地域を愛し、誇れる子どもを育成する。	「生活」「総合的な学習の時間」等の学習で、地域のよさを知る活動を実施する。	実践報告	年度末	○	2年生の「町探検」や3年生の「堺の学習」等で、地域学習に取り組んでいる。	○														
校長より(年度末)										学校関係者評価者から(年度末)													
本年度も保護者・地域の皆様には、本校の教育活動にご理解・ご支援いただき、誠にありがとうございました。皆様のお力添えにより、学校関係者の皆様からも、多くの項目で肯定的に評価していただきました。しかし、今後の課題としてさらなる改善が必要な項目もあり、今後も引き続き取り組みを進め、学校教育目標の達成をめざしていきたいと考えています。										目標を高く掲げ、学校が日々教育活動を行っていることはよく認識している。学校は、保護者・地域等の声を聴き、保護者・地域等の力も借りながら、教育活動に邁進してほしい。													